

目次

はじめに……………	(佐藤 哲夫)……………	i
第I部		
核兵器と反人道罪のない世界へ		
第1章 暴力の連鎖を断ち切るために		
——国際刑事裁判所（ICC）の使命と 役割……………	(尾崎久仁子)……………	3
第2章 核兵器の非人道性とその規制について (講演録)……………	(平岡 敬)……………	27
第3章 人道に対する犯罪・戦争犯罪と核兵器 ——国際法から読み解く……………	(真山 全)……………	41

第4章 「命の尊厳」を守る

——国連は反人道罪にどう対処してきたか……(望月 康恵)……………

81

第5章 武力紛争と反人道罪の予防

——現場での実践と私たちにできること

(講演録)……………(瀬谷ルミ子)……………

103

第Ⅱ部

アジアの平和とガヴァナンス

第6章 グローバル・ガヴァナンス・システムとは？

——二一世紀の国際秩序をマルチセクターの

協働で作るビジョン……………(大芝 亮)……………

119

第7章 地球環境問題とグローバル・ガヴァナンス……………(沖村 理史)……………

……………

137

第8章 安全保障共同体の現状と課題……………(吉川 元)……………

……………

161

第9章 東アジアの軍事・核ガヴァナンスの障害……………(孫 賢鎮)……………

……………

189

第10章 国際連合による集団安全保障制度の理論と実際

——アジアの事例を主な素材として……………(佐藤 哲夫)…………… 211

執筆者一覧…………… 244

* 本書所収の各論は、執筆者個人の見解であり、広島平和研究所を代表するものではありません。